

質問 QUESTION

補正予算要求に疑問あり

回答 ANSWER

謙虚に行財政運営に心掛けます

町長



おがわ ふみ お
小川 文雄

質問 補正予算要求は、危機管理室を設置し、人員を配置してしまえば、議会で否決はされないだろうという、ある意味ごうまんとも言えるやり方で要求されました。この行為は議会を軽視し、しかも、地方自治の原則である二元代表制を否定するような

ことだと思えます。「町民の方からの情報公開や監査請求、あるいは刑事告発等が頻発しており、一般事務に支障をきたしているという現状を回避したい」という大義で危機管理室をつくられたのですが、今回の一連のやり方が、町民の皆さんに正しく理解していただけるかどうか疑問です。

二元代表制の議会議席を置く一議員としてその責務を全うするために、あえてお尋ねします。町民の皆さんに納得していただける町長の答弁をお願いします。

危機管理室の設置および臨時職員の採用に関する、今回の補正予算の要求について、急に危機管理室を設置しなければならなかったのか。

回答 法に対する認識不足や慣習的に行ってきたことなどを抜本的に見直すために危機管理室を設置し、不正や違法行為が起きないように、内部統制の仕組みづくりに着手しました。

質問 臨時職員の賃金等を当初予算に計上できなかったのか。

回答 補正で対応すればよいという安易な考え方でありました。今後は当初予算に全て盛り込めるようになります。

質問 危機管理室に臨時職員が必要になったのか。

回答 各種計画の策定に向けて、知識経験を有した外部の人材を（臨時的に）採用しました。

質問 専門家を招聘しなかったのか。

回答 専門家といえるかどうか分かりませんが、国内有数の企業の中でさまざまな経験を積み、行政、地域の情報にも精通した者を採用しました。

質問 既成事実をつくらせてまで、審議を有利な方向に導こうとされたのか。

回答 そのように解釈されるところが、えが及ばなかったことは、行政を預かる者として反省しています。初心に帰り、謙虚な行財政運営に努めていきます。

質問 もし補正予算が可決されなかったら、どうするつもりであったのか。

回答 予算の裏付けがなければ何事もできませんが、承認をお願いします。

質問 議会を軽視し、しかも、地方自治の原則である二元代表制を否定するようなことをあえてされたのですか。

回答 安易な考えがありました。今後は謙虚な行財政運営に心掛けます。

